

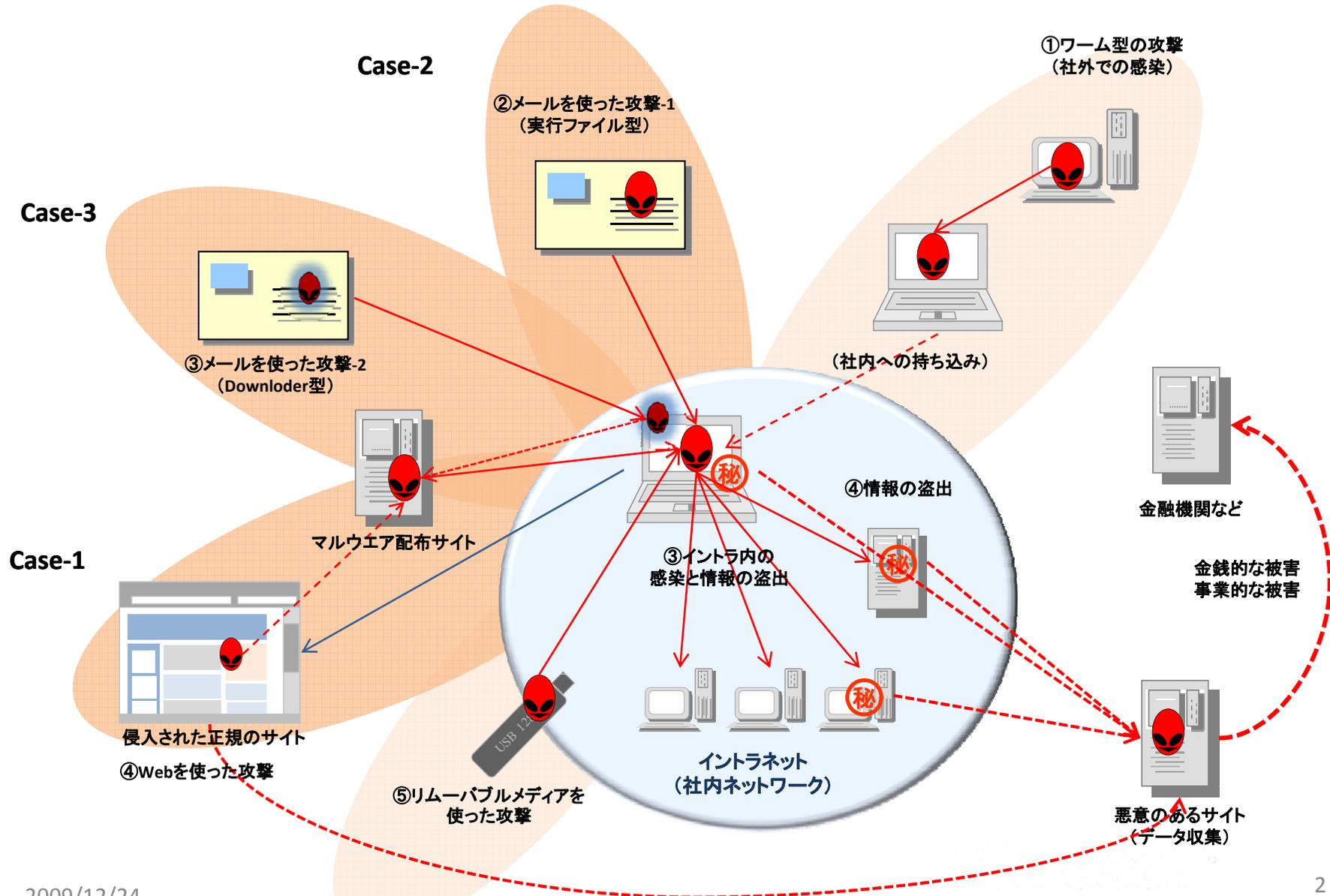
# 脅威のトレンド 2009

ソフトウェア、プロトコル、ウェブサイトをめぐる動向

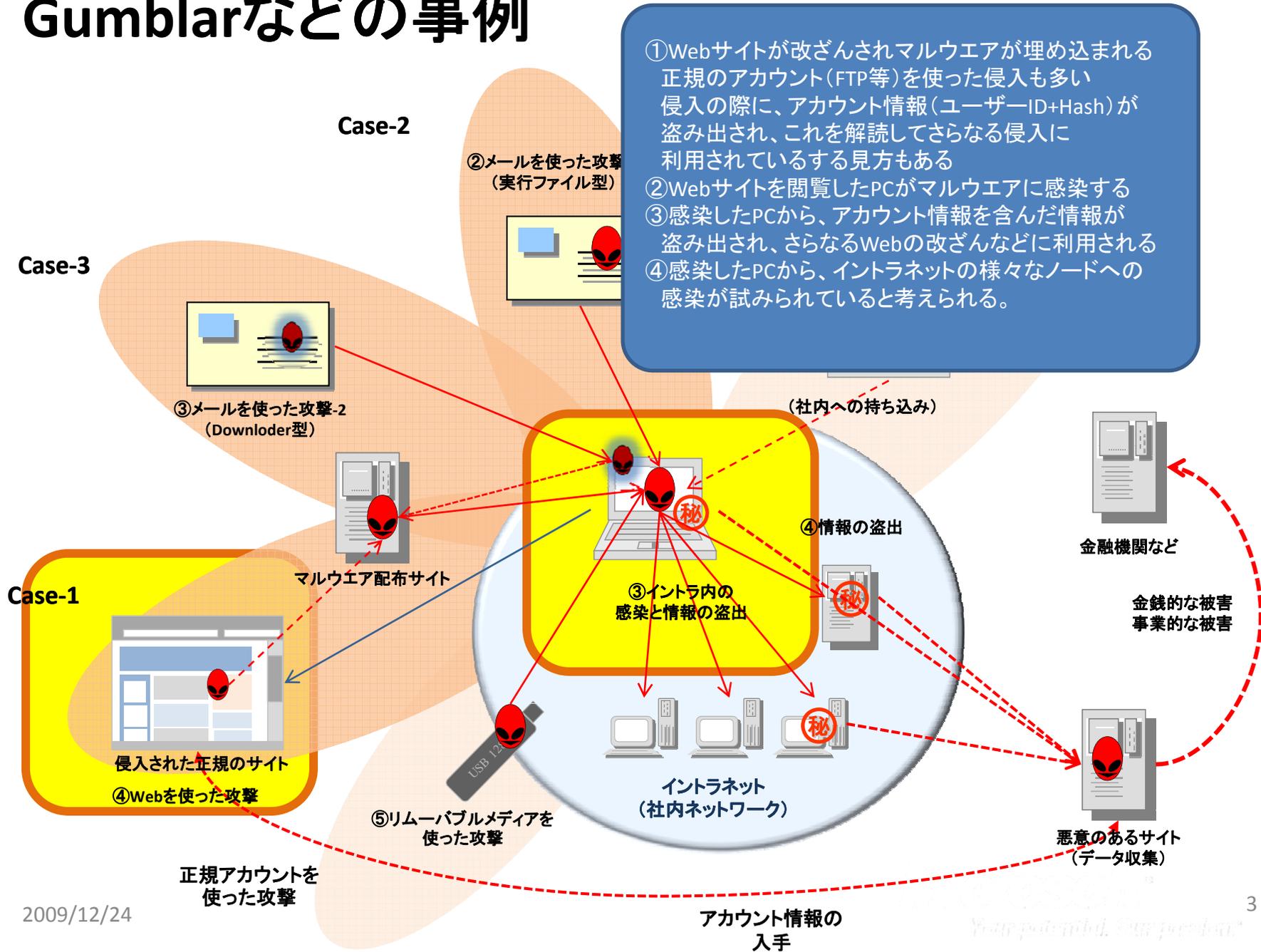
Masakazu Takahashi

Chief Security Advisor, Microsoft K.K.

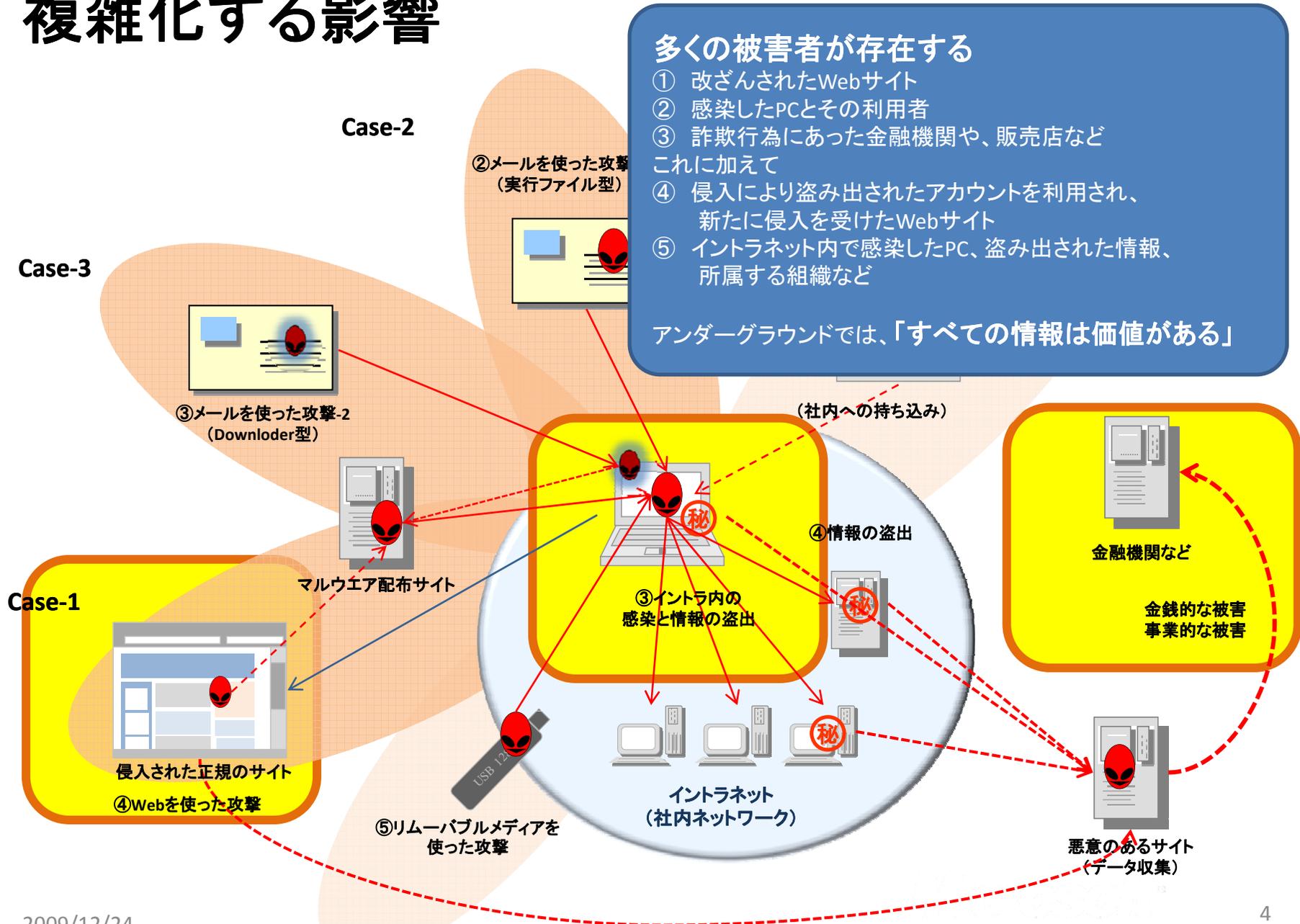
# 多様化する攻撃の手法



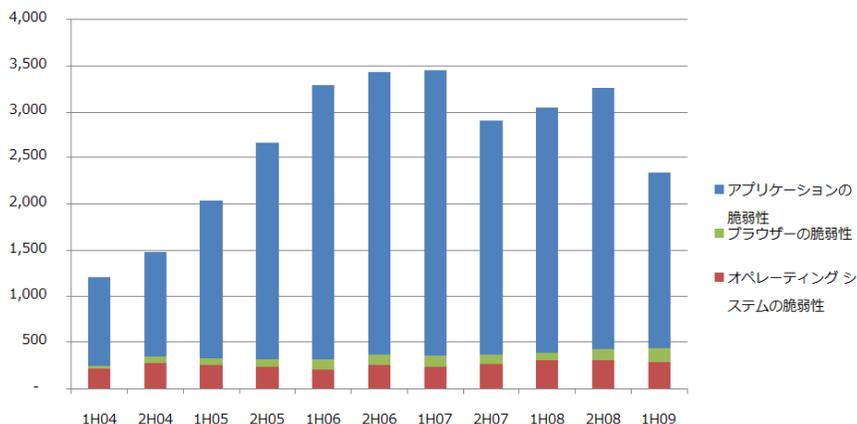
# Gumblarなどの事例



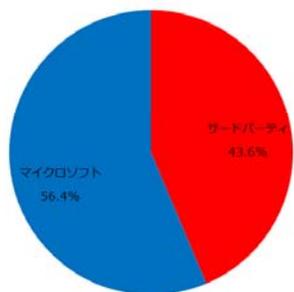
# 複雑化する影響



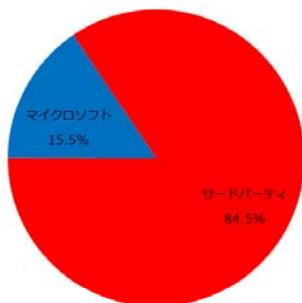
# 変化する脅威



業界全体のオペレーティングシステム、ブラウザおよびその他の脆弱性 (2004年上半期 - 2009年上半期)



Windows XP



Windows Vista

マイクロソフトおよびサードパーティのソフトウェアを標的としたブラウザベースの悪用 (2009年上半期)

- アプリケーションの脆弱性
  - 報告された脆弱性は、アプリケーションに関する脆弱性が大半を占めている
- 標的の拡大
  - 一般に、脆弱性の発見は、攻撃の増加と連動している
  - 攻撃の標的を調べてみると、XPでは43.6%、Vistaでは84.5%の攻撃が、マイクロソフト社以外のソフトウェアへの攻撃

# ディスカッションポイント

- 今年の傾向と特徴
- IT管理者は、このトレンドにどう対処できるのか
- 来年はどうなっていくか？